



皆が笑って楽しめるリハビリを提供する デイサービス兼訪問看護ステーション



株式会社 わらく 笑楽 訪問看護リハビリステーション リハビリデイサービス 笑楽

〒 515-0313

三重県多気郡明和町明星 971-1

URL <https://www.waraku-rehabili.com/>

Company data

代表取締役 / 施設長 / 作業療法士

田中 優志

作業療法士の資格を取得し、病院や老人保健施設で経験を積んだ後に独立。(株)わらくを設立し、現在に至るまで、「笑って楽しめる」リハビリに特化したデイサービス兼訪問看護リハビリステーション「笑楽」を展開している。

Personal data



小倉 リハビリに特化したデイサービスと訪問看護を展開されているという、(株)わらくさん。田中社長は、もともと独立願望が強かったのでしょうか?

田中 私の父が教員で体操教室も経営していたのですが、事業を手伝うことができず、後悔がずっと残っていたんです。そのため、いつかは経営者にという気持ちが芽生えるようになっていきました。

小倉 そうだったのですね。リハビリの世界に入られたのには何かきっかけが?

田中 大学の時に部活動(体操部)でケガをし、病院の作業療法士のリハビリを受けた経験からスポーツや生活をするうえで体の使い方に興味を持ち、作業療法士を目指すきっかけになりました。そのことから当施設を立ち上げ、現在はリハビリに特化し、訪問看護とデイサービスの両軸を展開しています。

小倉 リハビリに特化した施設というの、なかなか珍しいように感じます。

田中 ええ、何かしら他にはない特長を持ちたいと独立当初から考えていて、病院の外来リハビリの代わりになるようなリハビリサービスをしたいんです。理学療法士や作業療法士、看護師などの各分野の専門スタッフが常駐し、一人ひとりに合わせた質の高いケアを提供しています。訪問看護という訪問型とデイサービ

スの通所型の2軸があることも、当社ならではの強みだと感じていますね。

小倉 充実したお仕事ぶりがうかがえますが、どういったところにやりがいを感じられていますか?

田中 一番はやはり、利用者さんに楽しく、笑顔で過ごしてもらえるということです。リハビリも、楽しくなければ続きませんからね。それはスタッフに対しても一緒に、楽しく仕事が続けられる環境づくりは常に意識しています。

小倉 皆さんが共に楽しめる環境づくりというのは、何より大切ですよね。

田中 働き方改革が浸透していますが、当社は「休み方改革」についても考えています。皆がのびのびと働ける職場をつくることで、スタッフが休まなければならなくなった時にもフォローできるよう

体制を整えているんですよ。

小倉 スタッフの方々にとって働きやすい職場であることが、利用者さんにとっても過ごしやすい場所になるでしょうか。今後の展開についてはいかがでしょうか?

田中 父の思いを継ぎ、体操とリハビリを合わせた子ども向けデイサービスにも挑戦したいと考えています。障がいのある子どもたちを、体操を通じて明るく元気にしていけたらな、と思うんです。

小倉 最後に、これから出会う利用者さんへのメッセージをお願いいたします。

田中 当社のモットーは、「笑って楽しく、リハビリを提供し、生活復帰のサポートをしたい」ということ。この軸を貫いて、今後多くの方に利用していただける施設を維持してまいります。

Guest Comment

小倉 隆史(元プロサッカー選手)

多くのデイサービスがある中で、いかに利用者さんと従業員さんが笑って、楽しんで過ごせるかを重視されている田中社長。お話をからはそうしたこだわりと思いがはっきりと伝わりました。今後も地域に根付く施設として、より多くの方の健康を支えていってください。私も今後のご活躍を応援しています!

